

第5学年1組 道徳科学習指導案

1 主 題 名 本当の「友情」とは B 友情、信頼

2 主題設定の理由

(1) 価値観

人は社会の中で多くの人や仲間との関わりをもって生きている。望ましい人間関係を築いていくためには、お互いの立場や気持ちを考え合い、信頼し合い、助け合おうとすることが大切である。この時期の児童は、自我が確立してくるにしたがって、真の友情を求めるようになる。困っているときに相談に乗ってくれたり、悩んでいるときに励ましてくれたりする友達は、心の支えになる。そういう友達の存在はとても大きいものになってくる。しかし、人は時によって逆境に立たされることがある。そのようなとき、真に友としていかに信頼し、理解し合って友情を深めることができるかを問われる。

(2) 児童観

本学級の児童は、学習でのグループ活動や係活動などで関わりをもちながら、男女ともに協力して学校生活を送っている。また、高学年として互いに協力し、助け合いながら委員会活動などにも取り組んでいる。一方で、決まりきったグループでの行動が多く見られるようになってきた。自分の思いをもちながらもただ一緒に過ごすだけの交流にとどまったり、友達のためになると分かっているにもかかわらず、注意できなかつたりする場面もある。相手の立場に立ち、本当に相手の力になることはどういうことなのかを考え、互いに信頼し理解しあって、友情を深め、心から助け合っていこうとする心情を育てたい。

(3) 教材観

本教材は、友達としてどのような対応をとれば良いのかを考え、問題解決的に正しい行為を模索していけるように、物語が設定されている。アンドレ、サバイユ、ニコライの3人は、共通の友達であるロレンゾからの手紙を受け取る。ロレンゾが20年ぶりに故郷に帰ってくるという内容の手紙だが、3人はロレンゾが警察に追われているという噂を耳にする。ロレンゾに再会したとき、3人はどうすべきか、逃がすのか、警察へ行くのか、友達としてどう対応すべきかを、多様な意見を出し合い、考えることができる教材である。この教材の特性を生かし、本当の友達のあり方をさまざまな角度から意見を出し合うことで、友達との関わりについて考え、より良い人間関係を築こうとする心情を育てたい。

3 本時のねらい

- 悩みながらも友達のためにどうすべきかを話し合う3人の思いを自分事として考え、本当の友達ならどうするかについて考えさせる。

4 準備・教材

- 教材名「ロレンゾの友達」
- 教師……教科書の場面絵、振り返りシート

5 関 連

4年 道徳 「友達への注意」

6 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
方向付け	1 「友達」を感じるときのことを考える。 ・一緒に遊んでいるとき。 ・助けてもらったとき。 ・相談にのってもらったとき。	5	○児童の素直な気持ちを共感的に受け止め本時の方向付けをする。
価値の追求・把握	2 教材「ロレンゾの友達」について、3人のロレンゾへの考えを確認する。		○教材は、事前に親子で読んでおく。 ○アンドレ、サバイユ、ニコライがそれぞれ、警察に追われているロレンゾと会ったときに、どう対応しようとしているのかを、把握させる。

価値の追求	3人の考え方のうち、自分に近いものはどれですか。		
	<ul style="list-style-type: none"> 信じて逃がしてあげるのが友達だと思うからアンドレ。 本人の意見を尊重してあげるのが友達だと思うからサバイユ。 本人の意見は尊重したいが、悪いことは悪いと認めさせるのが友達だと思うからニコライ。 	15	<ul style="list-style-type: none"> 違いを問うことで、三者三様の友情観を捉えやすくする。 ネームプレートを貼らせ、友達がどう考えているか可視化する。 児童の意見を、短く要約したり、キーワードになる言葉を板書する。
把握	3 4人の関係について考える。		
	ロレンゾとこの3人は本当の友達といえるのだろうか。		
価値の自覚	<ul style="list-style-type: none"> ＜いえる＞ 約束どおりロレンゾとの集合場所に行ったから。 ロレンゾのためにどうするか真剣に考えたから。 ＜いえない＞ 最後に、ロレンゾに木の下での話を口にしなかったから。 警察に通報しようとしたから。 	30	<ul style="list-style-type: none"> 「心情メーター」を使用し、ロレンゾたちの友情度について考えさせる。 黒板にネームプレートを貼らせ、学級で他の児童の意見を可視化する。 再会后、ロレンゾに疑っていたことを話さなかったことについて触れる。
	4 本当の友情とはどのようなものか考える。		
まとめ	3人の考えをロレンゾが聞いたら、4人の友情は変わるのでしょうか。		
	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場になって考えること。 自分ができることを考えること。 	40	<ul style="list-style-type: none"> 「悪いことを見て見ぬふりすることが友達なのか」「友達を怒らせないように本音を隠すことが友達なのか」いろいろな意見を比較することで、考えを深めさせる。
	5 本時のまとめをする。	45	<ul style="list-style-type: none"> 親のアンケートを紹介する。 本時の授業で気付いたことよさや学んだことを振り返りシートに書かせる。 <p>評本当の友達のあり方について自分事して捉えている。(発表・ワークシート)</p>

7 本時の評価

- 本当の友達のあり方について自分事して捉え、考えを深めることができる。

(発表、ワークシート)

8 備考

- 指導の力点

＜考え、議論する道徳の授業づくり＞

- ・登場人物の生き方をもとに自分の生き方や、本当の友情とは何か、多面的・多角的に考えられるようにする。
- ・自分の考えを発表するときに、「ネームプレート」を用いる。自分の気持ちや他者の考えを可視化することで、それぞれの考えを捉えやすくし、自分の考えをより深められるようにする。

＜地域・家庭と連携しながら進める道徳教育＞

- ・事前に親子で教材を読んできてもらうことで、初発の考えをもつとともに、親の意見や経験を知り、自分の意見を明確にする。

9 指導と評価